

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道117号 <small>おおくら</small> 大倉バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県
起終点	<small>にいがたけんなかうおぬまぐんつなんまちあし ざき</small> 自：新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎 <small>にいがたけんなかうおぬまぐんつなんまちあし ざき</small> 至：新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎			延長	1.3km
事業概要	一般国道117号は <small>ながのけんながのし</small> 長野県長野市から <small>にいがたけんつなんまち</small> 新潟県津南町を経て <small>にいがたけんおぢやし</small> 新潟県小千谷市に至る幹線道路である。大倉バイパスは、老朽化した大倉スノーシェッド（幅員狭小、線形不良）の隘路区間を解消し、物流や広域観光に必要な交通円滑化と交通安全性向上を目的とした延長1.34kmの2車線道路である。				
H11年度事業化	都市計画決定なし	H12年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約40億円	事業進捗率	67%	供用済延長	0.0km
計画交通量	5,300台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体)	総便益 (残事業/事業全体)	基準年：平成20年	
	(残事業)	12/40億円 事業費：12/40億円 維持管理費：0.34/0.34億円	71/71億円 走行時間短縮便益：68/68億円 走行費用減少便益：3.4/3.4億円 交通事故減少便益：0/0億円		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C= 6.5（交通量+10%） B/C= 5.3（交通量-10%） 事業費変動：B/C= 6.5（事業費+10%） B/C= 5.4（事業費-10%）				
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築…大型車すれ違い困難区間(大倉スノーシェッド)が解消される。 ・個性ある地域の形成…飯山ICから妻有郷へのアクセス向上が期待される。 ・災害への備え…第一次緊急輸送道路に該当し、災害時に効果が期待される。 他7項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見	新潟・長野両県の沿線市町村を中心として「国道117号改良促進既成同盟会」が組織されており早期整備、供用の強い要望がある。また、「十日町地域土木振興会」からも同様な要望が出されている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成17年4月1日に十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町が合併し人口約6万人の十日町市が誕生。 ・「越後妻有アートネックレス整備事業」の成果の3年毎の発表の場として、大地の芸術祭が開催されている。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	事業用地の取得は完了しており、残事業は貫通まで83mの大倉トンネルと前後の取付道路である。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	終点側に存在した芦ヶ崎遺跡の調査に時間を要したこと、またトンネル部の地質が当初想定よりも脆弱であったことから事業の進捗が遅れたことによる。トンネル前後の取付道路に着手し、20年代前半の供用を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	特になし。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。